

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション  
 コード番号 4705 URL <http://www.clip-cor.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上憲氏  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部マネージャー (氏名) 徳野順一

TEL 052-732-5200

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,432	4.3	480	14.0	498	16.3	273	23.1
23年3月期第2四半期	2,332	6.6	421	8.7	428	8.7	222	12.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 272百万円 (24.7%) 23年3月期第2四半期 218百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	61.07	—
23年3月期第2四半期	49.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,920	5,004	84.5
23年3月期	5,887	4,911	83.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 5,004百万円 23年3月期 4,911百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,107	6.1	1,053	5.6	1,059	3.0	614	8.5	137.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	4,536,000 株	23年3月期	4,536,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	50,549 株	23年3月期	50,549 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	4,485,451 株	23年3月期2Q	4,485,580 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報 .....	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	13
(7) 重要な後発事象 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(6ヶ月)におけるわが国経済は、東日本大震災の復興に向け様々な対策が練られるなか、欧米における財政金融不安から、連鎖的に円高・株安となり景気の悪化は避けられない状況にあります。

学習塾業界にありましても、景気悪化や雇用情勢の不安から、聖域と言われた教育業界にあっても経営環境は厳しさを増しております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、雇用情勢を逆手に取った積極的な中途採用の継続と理科実験授業・野外体験授業及び農業体験授業などの新たな教育サービスの提供等、様々な対策に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高24億32百万円(前年同期比99百万円増)となりました。

利益面につきましては、営業利益4億80百万円(前年同期比59百万円増)、経常利益4億98百万円(前年同期比69百万円増)、四半期純利益2億73百万円(前年同期比51百万円増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナールを含む当第2四半期連結累計期間の平均生徒数は8,164名(前年同期比7.2%増)となりました。この結果、売上高は14億17百万円(前年同期比1億12百万円増)となり、セグメント利益(営業利益)は、2億51百万円(前年同期比25百万円増)となりました。

#### (スポーツ事業)

一方、スポーツ事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の平均生徒数は23,409名(前年同期比0.7%増)となり、売上高8億48百万円(前年同期比22百万円減)、セグメント利益(営業利益)は、2億61百万円(前年同期比34百万円増)となりました。

#### (飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は1億35百万円(前年同期比7百万円増)、セグメント損失(営業損失)は18百万円(前期同期はセグメント損失17百万円)となりました。

#### (その他)

化粧品販売事業・金属加工事業・バスケット教室の運営・農業事業を行っており、当第2四半期連結累計期間の売上高は33百万円(前年同期比5百万円増)、セグメント損失(営業損失)は13百万円(前期同期はセグメント損失14百万円)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は48億94百万円(前連結会計年度末比17百万円増)となりました。

これは主に、商品及び製品が22百万円増加したことによるものであります。

#### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は10億25百万円(前連結会計年度末比15百万円増)となりました。

これは主に、有形固定資産が24百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は8億38百万円(前連結会計年度末比69百万円減)となりました。

これは主に、流動負債その他が47百万円減少したことと未払法人税等が53百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は77百万円(前連結会計年度末比8百万円増)となりました。

これは主に、退職給付引当金が8百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は50億4百万円(前連結会計年度末比93百万円増)となりました。

これは主に、利益剰余金が94百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フロー状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年同期末に比べ8億40百万円増加し、35億73百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は1億98百万円(前年同期比88百万円減少)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が4億96百万円(前年同期比1億9百万円増加)あったことと法人税等の支払額が2億75百万円(前年同期比1億36百万円の支出増加)になったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は2億76百万円(前年同期は54百万円の減少)となりました。

これは主に、有価証券(国債)の償還による収入が3億円(前年同期はなし)あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は1億79百万円(前年同期比54百万円の支出増加)となりました。

これは主に、配当金の支払額による支出が1億79百万円(前年同期比44百万円の支出増加)あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の連結売上高及び営業利益等は、ほぼ予想と同様の水準で推移いたしました。

売上高面では、主たる事業である教育事業及びスポーツ事業における平均生徒数がほぼ予想値と同水準であったことが主要因であります。

営業利益面では、教室担当者数の増加や営業組織の拡充に伴う人件費が増加傾向であります。他のコスト削減により、利益を確保しております。

通期の連結業績予想は、第3四半期以降において積極的な入会活動と同時に効率的な組織運営によるコスト削減に努めることにより、前回公表数値と同額を予想しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,029,937	4,325,685
受取手形及び売掛金	25,458	37,915
有価証券	599,870	299,950
商品及び製品	77,787	100,419
原材料及び貯蔵品	16,354	10,667
その他	127,956	120,072
貸倒引当金	—	△22
流動資産合計	4,877,364	4,894,687
固定資産		
有形固定資産	257,879	282,209
無形固定資産	26,036	25,846
投資その他の資産	726,649	717,575
固定資産合計	1,010,565	1,025,630
資産合計	5,887,930	5,920,318
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,225	39,080
短期借入金	250,000	250,000
未払法人税等	269,260	215,640
賞与引当金	81,844	95,409
その他	285,678	238,345
流動負債合計	908,009	838,475
固定負債		
退職給付引当金	43,348	52,192
資産除去債務	14,699	15,704
その他	10,603	9,572
固定負債合計	68,651	77,469
負債合計	976,660	915,944

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	4,724,948	4,819,441
自己株式	△37,086	△37,086
株主資本合計	4,930,262	5,024,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18,992	△20,381
その他の包括利益累計額合計	△18,992	△20,381
純資産合計	4,911,269	5,004,374
負債純資産合計	5,887,930	5,920,318



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,332,675	2,432,101
売上原価	1,328,684	1,381,739
売上総利益	1,003,991	1,050,361
販売費及び一般管理費	582,238	569,600
営業利益	421,752	480,761
営業外収益		
受取利息	5,240	4,604
受取配当金	1,142	3,929
保険解約返戻金	—	5,840
営業権譲渡益	—	2,348
その他	2,696	3,002
営業外収益合計	9,079	19,724
営業外費用		
支払利息	2,065	1,980
その他	402	408
営業外費用合計	2,467	2,389
経常利益	428,365	498,096
特別利益		
固定資産売却益	226	—
特別利益合計	226	—
特別損失		
固定資産除却損	1,135	1,803
投資有価証券評価損	31,190	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,763	—
特別損失合計	42,089	1,803
税金等調整前四半期純利益	386,502	496,292
法人税等	164,048	222,381
少数株主損益調整前四半期純利益	222,453	273,911
四半期純利益	222,453	273,911

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	222,453	273,911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,987	△1,388
その他の包括利益合計	△3,987	△1,388
四半期包括利益	218,466	272,522
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	218,466	272,522
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	386,502	496,292
減価償却費	15,478	15,889
賞与引当金の増減額(△は減少)	16,805	13,564
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	22
受取利息及び受取配当金	△6,383	△8,534
支払利息	2,065	1,980
保険解約損益(△は益)	—	△5,840
営業権譲渡損益(△は益)	—	△2,348
投資有価証券評価損益(△は益)	31,190	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△226	—
固定資産除却損	1,135	1,803
売上債権の増減額(△は増加)	△9,568	△12,456
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,618	△16,945
仕入債務の増減額(△は減少)	7,738	17,854
前受金の増減額(△は減少)	△31,353	△33,625
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,558	△9,640
預り保証金の増減額(△は減少)	600	△496
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11,361	8,843
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,763	—
その他	△4,325	1,718
小計	422,722	468,082
利息及び配当金の受取額	5,878	8,454
利息の支払額	△2,038	△2,059
法人税等の支払額	△139,220	△275,600
営業活動によるキャッシュ・フロー	287,341	198,876
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△79,900	△79,900
定期預金の払戻による収入	79,900	79,900
有価証券の償還による収入	—	300,000
有形固定資産の取得による支出	△9,605	△33,043
有形固定資産の売却による収入	1,000	—
無形固定資産の取得による支出	—	△333
保険積立金の解約による収入	—	20,000
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△21,461	△14,849
貸付けによる支出	△26,500	△1,805
貸付金の回収による収入	2,366	4,500
営業権譲渡による収入	—	2,348
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,201	276,816

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10,000	—
リース債務の返済による支出	△518	△526
自己株式の取得による支出	△54	—
配当金の支払額	△134,568	△179,418
財務活動によるキャッシュ・フロー	△125,140	△179,944
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	—
現金及び現金同等物の期首残高	2,624,953	3,277,429
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,732,953	3,573,177

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,305,013	871,257	128,207	2,304,478	28,197	2,332,675	—	2,332,675
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	168	168	△168	—
計	1,305,013	871,257	128,207	2,304,478	28,365	2,332,843	△168	2,332,675
セグメント利 益又は損失 (△)	226,020	227,475	△17,435	436,061	△14,308	421,752	—	421,752

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化粧品販売事業・金属加工事業・バスケット教室事業及び農業事業を含んでおります。

2. 調整後はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,417,954	848,999	135,441	2,402,394	29,706	2,432,101	—	2,432,101
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	3,719	3,719	△3,719	—
計	1,417,954	848,999	135,441	2,402,394	33,425	2,435,820	△3,719	2,432,101
セグメント利 益又は損失 (△)	251,384	261,579	△18,383	494,580	△13,818	480,761	—	480,761

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化粧品販売事業・金属加工事業・バスケット教室事業及び農業事業を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当社は、平成23年10月1日付で適格退職年金制度から退職一時金制度に移行するとともに、退職金規程の改定を行いました。これに伴い、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用し、平成24年3月期第3四半期会計期間に特別利益として約37百万円を計上する見込みであります。